

念ずれば花ひらく

荒尾市立荒尾第三中学校便り
令和3年10月1日(金)
第12号 文責:森川孝巳

体育大会は・・・やってよかった！！

9月26日(日)8時20分、吹奏楽部の演奏のもとに各団の入場行進が始まりました。各団とも、力強く堂々とした入場行進で、生徒たちの「本気度」がすぐにわかりました。一糸乱れぬ素晴らしい行進のあとは、整然とした開会式。

生徒会長の坂田真央さんが挨拶で「今年は午前のみで開催や延期となる学校もある中、体育大会を一日行うことができることは素晴らしいことです。コロナウイルスは私たちの生活を大きく変えましたが、私たち三中生はその変化に対応してきました。開催を決断し、準備をしてくださった先生方への感謝を忘れません。」と言ってくれました。

また、閉会式では、生徒会書記の川本栞さんが「接戦の中、最後まで一人一人がやりきり、今は充実感と達成感でいっぱいだと思います。一生懸命に何かに取り組むことは、辛い時や悔しい時もありますが、いい思い出になります。今日の体育大会での笑顔、声援、そして頑張っている姿は忘れられないものになったはずです。先生方をはじめ、保護者や地域の皆様、最後まで温かい声援を送ってくださり、本当にありがとうございました。」と閉会の言葉を述べてくれました。

マスク着用、拍手のみの応援、同居の方2名までの制限等、コロナ対策を行いながらの体育大会でしたが、生徒たちは開催できることに感謝しながら、大いに楽しみ、充実した一日を過ごしてくれました。体育大会終了後は、勝っても負けてもみんな満足した爽やかな表情が印象的でした。三中生が一つになって行事をやりきったことで、達成感や感動を味わうことができました。本校の教育活動にご理解とご協力いただいた保護者や地域の皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました！



僕は団長をして、多くの経験をしました。まず、全員に指示をしたり、静かにさせたりして、人をまとめることの難しさを知ったことです。次に、皆と団結し目標に向かって全力で進むことの楽しさを知りました。赤団優勝をめざし、皆が全力で競技し、応援して、応援されることの楽しさを知りました。皆のおかげでとてもいい経験をし、たくさんのことを得ることができました。赤団が優勝して、皆には本当に感謝しています。ありがとうございました。(赤団長：前川楓稀くん)

僕は団長をして経験したことは、みんなをまとめることの難しさです。最初の練習の時、みんなに指示することが多くありました。声に出して、してほしいことを表現するのがとても難しく、辛かったです。けれども、数を重ねるごとに自分のしてほしいことが伝えられるようになりました。本番では団席でみんなに声をかけることができ、前より自分に自信ができました。青団のみんなを勝たせることができなかったけど、中学校生活の中で、すごくいい思い出となりました。青団のみなさん、最後までついてきてくれてありがとうございました。(青団長：藤好悠愛くん)

僕は、今回の体育大会で、1、2年生時の体育大会よりも大きなものを手に入れることができました。それは、達成感です。夏季中体連大会では良い結果が残せず、陸上中体連大会でもけがをして出場することができませんでした。しかし、中学最後の体育大会で、宮本君に代わって団長を務めさせてもらい、団のみんなをまとめることの難しさを知り、でも絶対勝たせたいという思いでいっぱいでした。結果は負けてしまったけど、負けた悔しさより体育大会が成功したという達成感の方が何倍も大きかったです。(黄団長：田中佑弥くん)

僕は4月に団長をすると決まり、クラスや学年の仲間たちと本気になって準備してきました。しかし、陸上中体連大会後、病気で入院することとなり、団長を代わることになりました。最後まで自分が黄団を引っ張っていきたくったので正直悔しかったですが、田中君やみんなのことを信じていました。そして、その期待に応えてくれました。黄団のみんなには感謝していますが、団長を引き継いでくれた田中君と応援リーダーには誰よりも感謝しています。(前黄団長：宮本公寛くん)